



## 目次

- 1 ページ 新年度を迎えて  
2～4 ページ 各事業所の取り組み  
5 ページ 行事報告  
6 ページ 合同研修会・行事予定  
7 ページ 千代福祉会後援会慰問  
編集後記 他

第60号 平成29年4月

発行：社会福祉法人 千代福祉会

発行人：理事長 鈴木 邦夫

事務局：仙台市青葉区芋沢字畑前北62 電話 022(394)5206/FAX 022(394)5207

事業所：障害者支援施設 ますみ学園/おおぞら学園/清風園/あおば園、児童福祉施設 あっぷる保育園/あっぷる愛子保育園、  
共同生活援助事業所 わーふ、障害者家族支援等推進事業所 ほっと・ひろせ、障害者相談支援事業所 こねくと千代

# 新 年 度 を 迎 え て

## おおぞら学園 園長 木皿 和夫

日頃より、千代福祉会に対しまして、ご家族の皆様、地域の皆様より暖かいご支援とご協力を頂きまして心から感謝と御礼を申し上げます。

昨年に施行された社会福祉法の一部を改正する法律をはじめ、社会福祉制度の見直し等、社会福祉法人や社会福祉施設を取り巻く環境は大きく変化しました。このような中、当法人は経営基本理念のもと、中期ビジョンと計画を策定し、それに基づいた取り組みを実施することで、利用者やご家族、地域関係者、更に職員から信頼される組織となるよう努めてまいります。

さて、年度末に毎年実施される、法人職員・家族会合同研修、ここでの講話内容は、浄土真宗大谷派、光明山、徳照寺、住職佐藤和丸氏による「お笑ひ 絵とき説法」と題した「仏教の教え、お釈迦様の生い立ちなど」それにまつわる説法でありました。

その内容の最後に、浄土真宗の教えである「南無阿弥陀仏」「南無」とは、「ありがとう」「阿弥陀仏」とは「いのち」であり「いのちありがとう」の教えであると締めくくりました。

「ありがとう」その一言は簡単なようで中々素直に言えなかつたりします。照れて恥ずかしくて、でも「ありがとう」とは感謝の気持ちを表すとても大切な言葉です。その一言で、人との付き合いがうまくいったり、嫌だったことも忘れてしまえるほどの言葉だと思います。私たちは、一日何回「ありがとう」の言葉を仕事やプライベートに使っているのでしょうか。

これからも常に「ありがとう」という感謝の気持ちを持ち続け、だれからも信頼され・頼りにされる千代福祉会としてのあり方を模索していきたいと思います。

## あっぷる愛子保育園 園長 半澤 和枝

パンドラの箱から最後に出てきたのは希望でした。私はその希望とは子ども達だと思っています。

あの未曾有の大震災の後にも、子ども達は希望を背負って誕生してきました。その希望の子ども達と毎日毎日かかわっているのが保育園。まさに希望だらけです。しかも最も愛らしい時代の赤ちゃんから就学までの子ども達がいっぱいです。「お父さん、お母さんごめん。今日も〇〇さんのかわいいところ、ひとりじめしましたー。」と報告したい日々です。

さて、チキチキバンバンという古いイギリスのミュージカル映画をご覧になったことがあるでしょうか？主題歌のチキチキバンバンは、ほとんどの方が耳にしたことがあるかと思います。レースで優勝しかけていたのに子どもと子犬をよけた

ため、ポンコツ車になったチキチキバンバン号は、水陸空両用車によみがえり、父と兄妹を乗せて冒険の旅に出ます。たどり着いたある国の王妃は、その国で一番若い存在であり続けようと、子ども狩りをしています。子どもが消えた国では、誰もが生きていく気力を失って暗い日々を過ごしています。古いけれど今でも全く新鮮で笑いあり涙ありの楽しい映画です。ぜひぜひ、観ていただきたいこの映画のテーマは、「子どもがいなければ未来に希望はあり得ない」ということだと思います。

この世の中で一番大切なものは、子どもです。その一番大切な子ども達が、今をよりよく生き、望ましい未来を作り出す力を培うことができるよう、みんなで力を合わせていきましょう。



# 職員が一丸となって

## ～各事業所のピックアップ～

### 『一人ひとりに合わせた食事提供』



食事は生活の中で大きな楽しみであり、必要不可欠です。健康状態、身体機能など、個人に合わせて対応していますが、さらにきめ細やかな支援と食生活の向上をはかるため、ますみ学園では平成 29 年 4 月から「栄養マネジメント」を導入しました。栄養ケアではご本人やご家族の要望をもとに栄養面での支援目標を決定し、栄養ケア計画と個別支援計画ともに管理栄養士や支援員だけではなく、医師や看護師など利用者に関わる職員が連携して支援を行います。個人の障害特性や咀嚼嚥下機能に合わせた食事の提供や食事のマナー（食べ方や姿勢、食器や箸の扱い等）習得、健康維持・増進、生活習慣病予防などを目的として全利用者さんが健康的で楽しい生活をおくることが出来るように取り組みます。

個人が有する障害や食事の様子、嗜好など、食事に関する考えは多種多様です。地域移行も視野に入れ、自立して食生活を営むことができるようになるためにも食事面での支援が求められます。一人ひとりに合わせた適切な栄養ケアを実施できるように職員が一丸となって支援を行います。

ますみ学園 荻谷

### 『新たなスタートライン』

今年度、千代福社会事務局は発足 10 年の節目を迎えます。事務局が財務・労務・請求等の各業務の集約・効率化、事務処理のさらなるスピードアップのため、様々な課題に試行錯誤しながら取り組み始めて 10 年。その間、社会福祉の状況は大きく変わりました。当法人も、障害福祉分野において「障害者相談支援事業所こねくと千代」を開所し、認可保育園（あっぷる保育園・あっぷる愛子保育園）も開園して児童福祉分野においても事業を開始しました。

今年度は社会福祉法が大きく変わる年になります。社会福祉法人のあり方が問われる難題に取り組まなくてはなりません。国の施策の変化に翻弄されそうなこの転換期が 10 年の節目となったことは、次の 10 年に向けた礎を築くスタートラインだと位置づけ、事務局一体で取り組みます。

法人事務局 加藤





## 『掃除は朝のあいさつ』

清風園では職員が8時10分から8時30分までの20分間、利用者さんが生活をしている居住棟を中心に朝掃除を行っております。なぜ就業時間前に掃除をしていると思いますか？利用者さんにきれいな空間で過ごして貰うために掃除をするのは当然のことです。当施設では一歩前進し、一日のはじめに掃除を通して利用者さんとコミュニケーションを図り信頼関係をより深いものにするとともに、会話や顔の表情・行動などからその日の体調を確認します。10年以上取り組んでおり、利用者さんの中には掃除の大切さを理解し、職員よりも先に掃除をしていたり、毎日自分の居室を掃除するようになった方もいます。『朝掃除』は掃除という一つのツールを基に様々な方向に波及し清風園に清々しい風をもたらしています。

清風園 工藤



## 『思いをくみ取る “気付き”』



「相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動をします」これはおおぞら学園職員の重点的な取り組み課題です。その為に職員は日々の支援の中で“気付き”を大事にし、利用者さんの気持ちを日々の支援の中で考え、そこで出来る事は何なのか、答えを見つけて行動していきます。こんな活動がしたい、こんな余暇を過ごしたい、こんな所に行ってみたい、そういった思いは利用者さんの中に溢れています。そんな思いをくみ取って日々の支援の中で応えていき、利用者さんの笑顔がたくさん見られるように、更に職員一丸となって支援をしていきます。

おおぞら学園 沼沢

## 『楽しくレクリエーション』

あおば園ではレクリエーションの一環として、季節ごとの行事に向けて、利用者さんと職員が協力してクリスマスツリーを作って飾り、節分では皆で作った鬼の面めがけて紅白の玉を投げてもらい、体



を動かして楽しみました。自分たちで作って、みんなで楽しむという活動の中で、達成感や仲間意識を高

め、楽しみながら体を動かせるようにしています。また、職員も一緒に作品を作りながら、自然と会話も増えました。利用者さんからは「楽しかったよ。またやりたい」と話がありました。これからも創意工夫しながら活動ができるようにしていきます。



あおば園 福田

## 『また遊びにきてね！』

「鬼は外！福は内！」豆まき会に介護老人保健施設「葵の園」の皆さんが遊びに来てくれました。以前「葵の園」の夏祭りに参加させてもらい、子どもたちがとても喜んでいたので“もっと交流を深めたい”という思いから計画、職員間での打ち合わせを重ねて今回の行事となりました。牛乳パックとお



りがみで作った「杓」と手作り福笑いをプレゼントしていただき、行事の中で使用させてもらいました。「葵

の園」の皆さんは子どもたちと話をしたり遊んだりして触れ合い、涙を流して喜んでくれました。子どもたちはもらった「杓」をままごとに使っていたり、福笑いでできた面白い顔を見てみんなで笑っていたりと今でも遊んでいます。地域とのつながりを大切にしていきながら、子どもたちがより楽しめるような行事を企画していきたいと思っています。



あっふる保育園 郷家

## 『みんなでスキルアップ』

あっふる愛子保育園では、開設以来、職員の自主研修を積極的に勧めています。

学ぶ内容は自由で、外部の研修に行く人、保育や



障害関係の本を読む人、新聞、テレビ報道を掘り下げると様々です。出されたレポートはいつでも誰でも手にとって、他の人が勉強したことをさらに学ぶことができます。

保育士はもちろん、事務員や給食スタッフもおおいに視野を広げている自主研修です。

新たなことを学び、職務に向かう姿勢が前向きに変わり、気付かなかった事に気付けるようになった職員もいます。

これからも日々変わっていく社会や保育制度、保育技術はもちろん、さまざまなジャンルに目を向けて、おおいに向上していきたいと思っています。

あっふる愛子保育園 庄子

## 『ココロもカラダも健康に』

当法人のグループホームは現在 22 ケ所あり 20 代から 70 代までの 74 名の方が入居し地域で生活しています。グループホームでは旬の食材を取り入れた家庭的な料理や季節感を感じられるような行事食を提供していますが、高齢の方や肥満傾向にある方など健康状態により個々に合わせた配慮が必要になっています。食事ではご飯にマンナンヒカリなどを混ぜて炊き、見た目の食事量は同じでもカロリーを抑えられるような工夫を取り入れています。

健康的な減量には運動が不可欠ですが、日中は就労や生活介護などの活動に参加しているため休日や余暇時間を利用して世話人や支援員とも一緒に出来る運動メニューを考え、無理なく継続できるようにしています。体重の推移を分かりやすくするためにグラフや表を活用し入居者さんの意欲を引き出しな

がら取り組んでいます。減量の成果には個人差がありますが、継続する事で着実に減量し中には一年間で 10 キロの減量に成功した方もいます。

昨年度は仙台市健康増進センターから講師を招いて日常生活の中で簡単にできる体操を学びました。日々の生活の中のちょっとした時間でできる運動やストレッチは入居者さんの健康づくりに役立っています。

わーぷ 浜坂





# 各事業所の行事

## クリスマス会

保育園、入所4施設、わーぷでクリスマス会が開催されました。皆さん、楽しみにしている行事の一つで、職員がアイデアを出し合い、パネルシアターやペープサート、宝探しゲーム、職員のバンド演奏や顔写真のビンゴ大会、カラオケなど大いに盛り上がり、とても楽しい時間を過ごせました。



あおば園



おおぞら学園



わーぷ

## 発表会～保育園～

平成29年2月18日（土）に各保育園で発表会がありました。あっぷる保育園では“音楽”をテーマに楽器の合奏や歌、踊りなど子どもたちが普段取り組んでいる遊びをアレンジし、



あっぷる愛子保育園

あっぷる愛子保育園では4月から取り組んできたダンスや手遊び、劇ごっこなどを発表しました。会場ではプロジェクターを使って練習風景や普段の様子などが見られるようにしました。子どもたちが親から離れて泣かずに舞台に立ち、一生懸命発表している姿に感動して「とても大きく成長した。」と嬉し涙を流していた保護者もあり、拍手や笑顔がたくさんある発表会になりました。



あっぷる保育園

## 活動報告会・任命式

千代福社会の入所施設では年度の節目に「活動報告会」を行いました。

活動班、クラブ、絵画教室、陶芸教室での活動を皆で一緒に振り返り、頑張ったこと、楽しかったこと、悔しかったこと、皆さんいろいろな思いを踏まえて一年間の成果を発表しました。また、次年度の活動班や担当役割、自治会役員の任命式も行い、真剣な表情で任命書を受け取り、次年度の意気込みを話してくれました。新しい年度に向けて、良いスタートが切れるような行事になりました。



清風園



ますみ学園

## 家族会・職員 4 施設合同研修会

平成29年 2 月11日（土）に千代福祉会家族会・職員合同研修会が秋保温泉ホテルニュー水戸屋で開催され、家族・職員117名が参加しました。講師に浄土真宗大谷派 光明山 徳照寺の佐藤和丸住職を招き、「お笑ひ絵とき説法」と題した講演がなされ、皆



家族会・職員合同研修会の様子

に共通する生から死までのお話に一同聞き入る事となりました。また仏教やお釈迦様の教えについても住職ならではの観点から、絵を交えておもしろおかしく語って頂きました。後半では生きる事の意味を考えさせる話題提供があり、「命、ありがとう」という言葉が皆の胸に響き渡りました。生きている事に感謝し、一日一日を大切にしていきたいと思うような研修でした。



講師 佐藤和丸住職

## 平成29年度 事業所別 行事予定表(上半期)

マーカー…家族参加の行事となります !!

	ますみ学園	おおぞら学園	清風園	あおば園	あっぱる保育園	あっぱる愛子保育園	わーぷ
4 月				11日(火) お花見	1日(土) 入園、進級式 保護者会総会 クラス懇談会	1日(土) 入園、進級式 保護者会総会 クラス懇談会	
5 月					24日(水) 園外保育 (すいか組)	24日(水) 園外保育 (すいか組)	27日(土) 日帰り外出
6 月	17日(土) ファミリー 交流会	3日(土) おおぞら交流会		3日(土) 家族ふれあい 交流会	6日(火)～ 8日(木) 懇談会  プール開き	6日(火)～ 9日(金) 懇談会  プール開き	10日(土)～ 11日(日) 一泊旅行(一班) 24日(土)～ 25日(日) 一泊旅行(二班)
7 月					8日(土) 夏まつり	8日(土) 夏まつり	
	29日(土) 千代福祉会 夏祭り						
8 月				7日(月)～ 8日(火) 七夕見学	4日(金) 七夕祭り	4日(金) 七夕祭り	19日(土) 日帰り外出
9 月	30日(土) 芋煮会	14日(木)～ 15日(金) 家族旅行	21日(木)～ 22日(金) 家族旅行(一班) 27日(水)～ 29日(金) 家族旅行(二班)	21日(木) ～22日(金) 家族旅行	20日(水) 園外保育 (めろん組)	20日(水) いも煮会	



## 千代福祉社会後援会「お楽しみ演芸会」

平成29年3月8日(水)に清風園体育館で開催されました。入所4施設、わーぷの利用者さん、そして今回は、あっぷる愛子保育園の年長の子どもたちも参加しました。すずめ踊りや舞踊、ものまね歌謡ショーを披露していただきました。各ステージが終わると大きな拍手が沸き起こり、利用者さんや子どもたちがとても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



利用者さん・子どもたち



すずめ演舞 仙台すずめ踊り連盟 合同祭連 様



舞踊 藤乃豊華社中 様



歌謡ショー 浅井昭一郎 様

## 第20回 ピュア・ハーツ アート展

平成29年1月27日(金)～2月1日(水)にせんだいメディアテークで開催された仙台市知的障害者芸術文化協会主催の第20回ピュア・ハーツアート展に絵画、陶芸、写真、書など多数の作品を出展し、あおば園の佐々木勝雄さんが陶芸の部で、清風園の小野寺健三郎さんが写真の部で見事入賞しました。

月2回土曜日に外部講師を招いて行っている絵画教室、陶芸教室からの出展と、施設毎のクラブ活動で創作した作品や、余暇に個人の趣味で創り出している作品も出展しましたが、全て力作揃いでした。

これからも一人ひとりの表現方法を尊重しながら、芸術活動の支援をしていきたいと思ひます。

### 受賞作品



○陶芸の部 銅賞  
あおば園 佐々木勝雄さん  
作品名「花瓶」



○写真の部 銀賞  
清風園 小野寺健三郎さん  
作品名「光の奇跡」

## 人事異動

### ○昇格

#### あっぷる保育園

副主任保育士 郷家 学(あっぷる保育園保育士)  
副主任保育士 鈴木 京佳(あっぷる愛子保育園保育士)

### ○新規採用

#### おおぞら学園 支援員 中川原脩人

〃 佐藤優里佳

〃 小西 葉弓

#### 清風園 支援員 畠山 里穂

〃 小塚 千歩

〃 赤塚 智貴

#### あおば園 パート支援員 佐藤優美子

#### あっぷる保育園 事務員 佐藤 至志

保育士 高橋 莉彩

〃 谷藤 瞳

パート保育士 杉山 秀子

パート看護師 大友奈津恵

#### あっぷる愛子保育園 事務員 沼倉 巧

保育士 齋藤 三月

〃 菅原 花梨

〃 新田 千晴

調理員 末永眞冬花

パート保育士 高橋いつ子

### ○正規職員登用

#### あおば園

支援員 井上 良子(あおば園パート支援員)

## 編集後記

草木が芽吹き桜の開花が待ち遠しい季節になりました。せんぷくも60号から発刊を4月と10月に変更しお届けすることになりました。今後も法人の様々な情報を紹介して参りますのでよろしくお願いいたします。

「せんぷく」の発刊が4月、10月になりました!

## 千代福祉社会職員を募集します

詳細はホームページで!

(<http://www.sendai-fukusi.org>)

千代福祉社会

※求人に関するお問い合わせ

TEL 022-394-5206 (法人本部)

受付時間:平日9:00~17:30

